

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

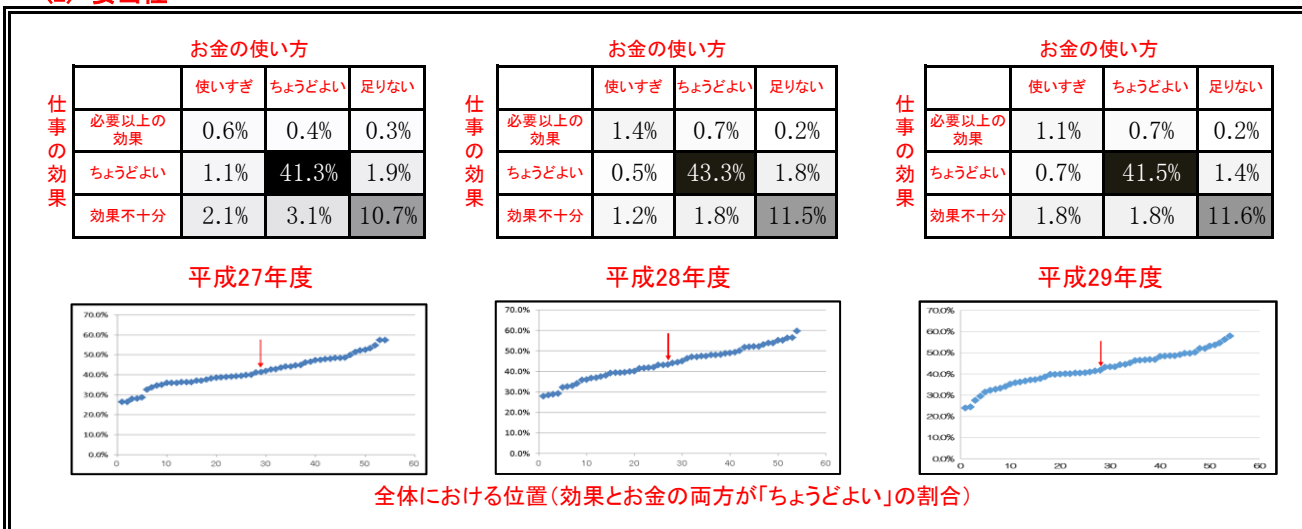
総合計画上の位置付け	分野	勤労者福祉	施策の方針	技能振興の充実
目標とすべきまちの姿	技能者がもつ専門的な技能により市民生活がより豊かになっています。その専門性を生かした市内事業者が、日常生活における市民のニーズにこたえることで、市民生活の向上に貢献しています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	平成27年度	32.0%	平成28年度	32.7%	平成29年度	34.8%	(回答者全体に占める割合)
-----------------------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	---------------

(2) 妥当性



(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
平成29年度	17.8%	40.2%	3.0%	39.0%
平成28年度	16.9%	41.9%	3.7%	37.5%
平成27年度	17.5%	40.8%	3.9%	37.9%

2 内部評価

(1) 平成29年度の目標

- ①優秀な技能者を顕彰し技能者の経済的社会的地位及び技術水準の向上に努めるため、技能者表彰を実施する。(市民－20)
- ②広く市民に技能者の技術に触れる機会を創出するため、技能職団体連絡協議会と連携して技能祭を実施する。(市民－20)
- ③広く市民に技能体験の機会を設けるとともに後進の育成のため、技能職団体連絡協議会と連携して、多くの小中学校で技能の実演、技能体験の機会を設ける。(市民－20)

(2) 目標とすべきまちの姿と平成29年度の目標との関連性

- ①②③技能者表彰を行うことで、鎌倉市における技能者の経済的社会的地位及び技術水準の向上が図られるとともに、技能の習得と向上がより豊かな市民生活の向上に貢献している。また、「技能祭」や「小中学校での技能の実演、技能体験」は、技能の周知や技能職の後継につながり、専門性を持つ事業者が市民生活の向上に貢献する機会の増加につながる。

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		総事業費(千円)		職員数(人)		法定受託事務	今後の方向性	
整理番号	事業名	平成28年度	平成29年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度		事業内容	予算規模
市民-20	技能振興事業	440	624	6,806	6,972	0.8	0.8		b	B

(4) 主な実施内容

【主な実施内容】 ①優秀な技能者を顕彰し技能者の経済的社会的地位及び技術水準の向上に努めるため、技能者表彰を実施した。(市民-20) ③広く市民に技能体験の機会を設けるため、技能職団体連絡協議会と連携して玉縄小学校、今泉小学校で技能体験(植木剪定)を実施した。(市民-20) 【実施できなかった事業とその理由等】 ②技能祭当日、雨天により中止となった。(市民-20) ③中学校での技能体験については、市内の全中学校に実施の呼びかけを行ったが実施には至らなかった。(市民-20)
--

(5) 平成29年度の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切	□ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切	□ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切	□ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切	□ 要改善
<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等> ・限られた予算の中で、技能職団体の人的資源を活用し、事業にあたっている。			

(6) 評価結果や市民意識調査結果をふまえ、施策の方針等としての、今後の方向性

・市民意識調査結果では、「もっと力を入れるべき」と「現状のままで良い」を合わせると5割以上の市民が必要な施策と意識していることが伺えるため、今後も技能者の経済的社会的地位及び技術水準の向上を図るため、優秀な技能者への表彰を行い、技能祭で技能を披露するとともに、後進の育成のため、多くの小中学校で技能の実演を行っていく。
--

(7) 平成30年度の目標

- ①優秀な技能者を顕彰し技能者の経済的社会的地位及び技術水準の向上に努めるため、技能者表彰を実施する。(市民－20)
- ②広く市民に技能者の技術に触れる機会を創出するため、技能職団体連絡協議会と連携して技能祭を実施する。(市民－20)
- ③広く市民に技能体験の機会を設けるとともに後進の育成のため、技能職団体連絡協議会と連携して、小中学校で技能の実演、技能体験の機会を設ける。(市民－20)

(8) 目標とすべきまちの姿と平成30年度の目標との関連性

- ①②③技能者表彰を行うことで、鎌倉市における技能者の経済的社会的地位及び技術水準の向上が図られるとともに、技能の習得と向上がより豊かな市民生活の向上に貢献している。また、「技能祭」や「小中学校での技能の実演、技能体験」は、技能の周知や技能職の後継につながり、専門性を持つ事業者が市民生活の向上に貢献する機会の増加につながる。

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	市民-20	事業名	技能振興事業						
指標の内容	技能者表彰受賞者数					単位	人	指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由 優秀な技能者の増加は市民生活の向上に寄与するため。	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31	
	目標値	32	32	32	32	32		32	
	実績値	22	16	16	20				
	達成率	68.8%	50.0%	50.0%	62.5%				

鎌倉市民評価委員会からの指摘

課題

- ・この分野に対する市民へのメリットはなにか。
- ・若年技能者の減少は長期的な課題であり、継続的な長い時間をかけた取組が必要である。
- ・中学校での技能体験については、市内の全中学校に事業実施について説明をしたが機会を設けることは出来なかったとあるが、実態としては、中学校側は興味を示さなかったということか。



指摘への対応、コメント等

建築、鳶、菓子、自動車整備、等々様々な技能の向上が市民生活に還元されるものと捉えている。

技能祭や小中学校での技能体験を継続し、技能者の技能に触れる機会を設ける。

中学校は、小学校より行事が多くまた進路指導などで日程の設定が難しいこともあると思うが、今後も実施について働きかけていく。

提言

- ・それぞれの業界に「表彰制度」「技術発表会」等が存在している。鎌倉ならではのカテゴリーに特化してはどうか？
- ・歴史文化都市である鎌倉、ここに暮らし続けてきた人々の生活に密着した技能が眠っているのではないか。
- ・各技能者組合で後継者の育成に取り組んでいるが、より市民に周知されるよう努力が必要である。
- ・たとえば産業振興分野などと連携したほうが、市内の技能者と市民が結びつき、結果として双方のサポートにつながるのでは



提言に対するコメント等(総論)

後継者の育成は、各技能者組合で取り組んでいるところであり、例えば鎌倉彫などは後継者の育成に「鎌倉彫教室」など親しみやすい催しを開催するなどの工夫をしているため、市は各技能職組合の後継者の育成に支援を継続して行なっていく。

また、技能者の育成が、より市民に周知されるよう技能祭への参加者が増えるよう広報に努める。

質問

技能者表彰を実施すると、どの程度、技能者の経済的水準の向上に効果があるのか。



質問に対する回答

技能者表彰により、鎌倉市における技能者の経済的社会的地位及び技術水準の向上が図られると考えている。

鎌倉市民評価委員会の評価

《評価できるところ》

- ・技能祭を実施し、広く市民に技能者の技術に触れる機会を創出している。技能者表彰により優秀な技能者を顕彰し、技能者の社会的地位及び技術水準の向上に努めた。
- ・技能職者の技術水準の向上や、社会的地位の向上を図るための、長期的、継続的な長いスパンの取組として評価できる。鎌倉市の将来にとってよい事業と考えられる。

評価の内訳						⇒	委員会の評価
取組	↗	0	↘	1	→		→
効果	○	0	△	2	—		—

《課題》

- ・技能者表彰により優秀な技能者を顕彰し、技能者の経済的社会的地位及び技術水準向上に努めるのは大事と思われるが、昨年、一昨年に引き続き、具体的な記述がないため評価があまりできない。
- ・若年技能者の減少は長期的な課題であり、継続的な長い時間をかけた取組が必要である。
- ・例年のことだが、本施策の実施内容・取組がどこまで技能振興の充実に貢献しているのかが、全くわからない。技能者人口の推移などを指標とすべきだし、それを達成する為の取組内容にすべきでは。技能者水準の向上のために技能者表彰が効果的であるのかも、疑問である。
- ・「鎌倉市民評価委員会からの指摘」について、「市民へのメリットは何か」との質問に対して「建築、鳶、菓子、自動車整備、等々様々な技能の向上が市民生活に還元されるものと捉えている。」とコメントしているが、どのような理由又はプロセスを経て還元されるのか明確にすべき。同様に技能者表彰についても明確にすべき。

《提言》

- ・技能祭を実施し、広く市民に技能者の技術に触れる機会を創出することは重要であるが、具体的な記述がない、具体的な効果が不明など、内容が不明な部分が多く、これらを明らかにする記述を望む。
- ・専門性を生かした市内事業者の紹介を広報かまくらで保存版として取り上げ市民に周知させたらどうか。
- ・「指標」の「技能者表彰受賞者数」について、設定理由を「優秀な技能者の増加は市民生活の向上に寄与するため。」としているが、優秀な技能者は市民生活の向上にどの様に寄与するのかについて、具体的に示していただきたい。

《質問》

- ・中学校での技能体験については、市内の全中学校に事業実施について説明をしたが機会を設けることは出来なかったとあるが、実態としては、中学校側は興味を示さなかったということか。具体的な効果や内容はシートからは読み取りにくい。